

学校法人相愛学園

理事長 相田芳久 殿

令和5年度

自己点検・評価 報告書

令和6年2月20日

学校法人相愛学園 焼津豊田幼稚園

園長 佐野正子

理事長
決 済



令和5年度の園運営についての自己評価を実施しましたので、以下にまとめたものを報告書として提出いたします。

今年度は、コロナが第5類になったこともあり、なるべく制限のない楽しい園生活を送れるよう、幼児の育ちと照らし合わせながら教育活動や環境構成の工夫・改善に努めてまいりました。幼児にとって意味のある生活ができるよう考え取り組んできたことは、多くの収穫を得ることができたのではないかと考えております

また、昨年度より園内研修テーマを『主体的な子ども姿を目指して』として、様々な活動や遊び、生活の中から主体的な子どもの姿を見つけ育てていくことを主として取り組んでまいりました。

それらを基軸に、令和5年度は全日本私立幼稚園幼児教育機構主催の「ECEQ研修」に取り組みました。この研修は「保育の質の向上を目指した公開保育による研修」で、他園の保育者と公開園の保育者が意見交換をしながら、自分達だけではわからなかった自園の良さや課題を見つけていく。また、その過程において園内のコミュニケーションを活性化し同僚性を高める手法を学んでいきました。

ECEQ研修という貴重な経験を積んだことで、教職員が課題に向けて努力する姿を確認できたこと、園内コミュニケーションの取り方の工夫…等が見られたことは収穫であると考えます。

具体的な自己評価においては、項目ごと各自で振り返りを行ったものをまとめました。ECEQ研修の学びを次年度につなげて行けるよう、今後も園や自身の良さを伸ばしていくこと、課題克服に向けて真摯に取り組みを進めることを求めてまいりたいと考えます。

以下、園長による自己評価、教職員による自己評価等について、自己点検・評価結果の報告として報告します。

令和6年2月20日

令和5年度 事業経過報告

| | | |
|---------|---|---|
| 教育運営 | 1 | 教育課程・年間指導計画実施については、第5類のなったコロナの状況を確認しながら柔軟に対応し、大きな行事は終了することができた。 |
| | 2 | 焼津市私立幼稚園協会公開保育研修会（6月）を実施した。 |
| | 3 | 県私幼主催研修や焼私幼教員研修会等、研修に積極的に参加した。 |
| | 4 | 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構主催のECEQ研修（8月～11月）を実施。2月報告書を提出し終了した。 |
| | 5 | 焼津市くらし安全課による防犯研修を実施した。 （焼津幼と合同で） |
| | | |
| 施設・設備関係 | 1 | 給食用スチームコンベクションの修理 |
| | 2 | 裏の門扉取り換え工事 |
| | 3 | 延長保育こぼと組遮光カーテン取り付け |
| | 4 | 保育室クロス等修理 |
| | 5 | 築山の盛土工事 |
| | 6 | 中央棟雨漏り補修工事 |
| | 7 | にこにこの木トンネルスライダー半分修理 |
| | 8 | 業者による遊具一斉点検（3月4日実施） |
| その他 | 1 | 年間を通じて定期的の防災避難訓練を実施した。 |
| | 2 | 令和6年2月28日、学校関係者評価委員会を開催し終了した。 （自己点検・自己評価・保護者アンケート実施） |
| | 3 | 年度末の自己点検・評価、保護者アンケートを実施した。 |
| | 4 | 学校保健安全計画に従って各事業を推進した。 |
| | 5 | 子育て事業（つくしんぼクラブの開催） |

| 評価分類 | | 内 容 | チェック |
|---------------------------------------|--------------------------|---|------|
| I 教育内容 | 1 保育の計画 | ○建学の精神—に基づき教育理念や教育目標を明文化する | ○ |
| | | ○教育課程は教育理念に基づき、教育要領の精神を踏まえて編成する | ○ |
| | | ○社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮し必要に応じて教育課程の見直しを行う | △ |
| | | ○幼児の生活が豊かになるように行事を精選し、幼児の発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行う | ○ |
| | 2 教職員体制の充実 | ○教職員が園の教育理念や教育方針を共通理解するための取組みを行う | ○ |
| | | ○指導計画が教育要領、教育課程、幼児の実態に即したものになっているかを把握し、指導助言できる体制をつくる | ○ |
| | | ○教師が上級免許や他の資格を取得したり、教員免許の更新をしたりする機会を確保する | ○ |
| | 3 指導の在り方 | ○環境を通して行う幼稚園教育の特質を理解し、発達の道筋を見通して教育的価値のある環境を計画的に構成する | ○ |
| | | ○幼児の主体性と教師の意図とのバランスを考慮しながら、幼児が主体的に活動できる環境を構成する | ◎ |
| | | ○幼児とのかかわりのなかで信頼関係を構築するよう努める。安全で心地よく過ごすことができる環境を整える | ○ |
| | | ○幼児一人ひとりの発達の特性に応じた指導を、家庭や関係機関と連携しながら行う。 | ○ |
| | | ○教職員全員で一人ひとりの幼児を育てるという視点に立って、教職員間の共通理解と協力体制を築き、指導を行う | ○ |
| | | ○遊びを通しての総合的な指導を行う | ○ |
| | | ○子どもの発達と学びの連続性を確保するため、幼稚園と小学校との連携を図る | △ |
| | 4 研修や研究 | ○教育内容の質の向上や改善のため、園内研修を企画し行う | ◎ |
| | | ○教師の資質向上のために、公的機関などが開催する研修会などに参加する機会を確保する | ○ |
| ○個々の教師が自分の課題を把握し、その課題が達成できるような指導体制をとる | | ○ | |
| II 地域の幼児教育センターとしての役割 | 1 子育ての支援 | ○子育ての支援のために、未就園児の親子登園や子育て相談、情報の提供などを実施する | ○ |
| | | ○さまざまな教育に関する相談を受け入れる | ○ |
| | | ○子育ての支援に当たって、児童相談所や病院などの専門機関に相談や連携ができる体制を整える | ○ |
| | 2 預かり保育 | ○教育課程に基づく活動を考慮したうえで預かり保育の内容を検討し、計画的に行う | ○ |
| ○預かり保育を担当する教師の体制を整える | | ○ | |
| III 安全管理 | 1 外部侵入者・来訪者などに対する安全対策 | ○幼稚園施設整備指針に基づき、適切な防犯体制を整える | ○ |

| | | | | |
|----------------|--------------------|---|---|---|
| | 2 | 施設・設備・園児 に対する安全対策 | ○地震などの自然災害に対する防災対策を整える | ○ |
| | | | ○幼稚園設置基準を踏まえ、施設設備の安全管理に努める | ○ |
| | | | ○消防法を踏まえ、消防計画を作成し実施する | ○ |
| | | | ○防火管理者を定めて防火管理を行う | ○ |
| | | | ○設備や遊具の点検を定期的に行う | ◎ |
| | 3 | 衛生管理 | ○幼稚園設置基準を踏まえ、衛生管理に努める | ○ |
| | | | ○学校保健法を踏まえ、保健安全計画を作成し実施する | ○ |
| | | | ○学校保健法を踏まえ、園児及び教職員の健康診断を実施する | ○ |
| | | | ○学校保健法を踏まえ、伝染病予防や発生に対応する | ○ |
| | | | ○学校保健法により、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置く | ○ |
| IV 人事管理 | 1 | 園の教育目標達成のための人事 | ○幼稚園設置基準を踏まえ、園の教育目標が達成できる人事を行う | ○ |
| | | | ○幼稚園設置基準を踏まえ、個々の教職員が自己評価などに努める | ○ |
| | 2 | 教職員の雇用条件 | ○労働基準法に基づいた労働条件を整備し、明示する | ○ |
| | | | ○私立学校教職員共済法を踏まえ、教職員の福利厚生に努める | ○ |
| 3 | 就業規則に基づく <労務管理> | ○労働基準法に基づいて就業規則を作成し、行政官庁に届け出る | ○ | |
| 4 | 教職員の健康管理 | ○学校保健法に基づき、毎年、教職員の健康診断を実施する | ○ | |
| V 財務管理 | 1 | 予算作成及び予算管理 | ○学校法人会計基準に基づき、予算書を作成する | ○ |
| | | | ○月次で予算管理を行い、補正予算が必要な場合は理事会の承認を得る | ○ |
| | 2 | 決算 | ○学校法人会計基準に基づき、会計処理を行うとともに財務計算に関する書類を作成する | ○ |
| | | | ○決算は公認会計士の監査を受け、適正であることの証明をつけて監督官庁に届け出る | ○ |
| 3 | 納付金算定 | ○園児納付金の算定に関しては、算定根拠をしっかりともち、外部に説明できるようにする | ○ | |
| 4 | 物品購入 | ○教材などの在庫は種類・量共に、適切に管理する | ○ | |
| VI 評価と情報の公開 | 1 | 評価 | ○重点目標とそれを達成するために必要な評価項目を定めて自己評価を行う | ○ |
| | | | ○自己評価の結果や分析、それを踏まえた今後の改善方策を自己評価の結果報告書にまとめる | ○ |
| | | | ○学校関係者評価委員会を設置し、自己評価の結果について学校関係者評価を行う | ○ |
| | 2 | 情報の公開 | ○幼稚園設置基準により、教育活動その他の学校運営の状況について、積極的に情報を提供する | ○ |
| | | | ○公開する情報の中で、個人情報とされるものについては保護されるようにする | ○ |
| | | | ○自己評価の結果を公表する | ○ |
| | | ○学校関係者評価の結果を公表する | ○ | |
| | | ○幼稚園幼児指導要録の写しを小学校に送付し、情報の共有と相互理解を図る | ○ | |

— 令和5年度 教職員の自己評価内容について —

本年度も年度末に園内において教職員対象の自己評価を実施した。あらかじめ設定した評価項目にしたがっての振り返りを行なった。その中で、個々の課題の掘り起こしにつなげ、評価・改善策を考えることとした。今年度は4項目について自己の保育を振り返り記述したものをまとめた。以下の通りである。

1. R4研修テーマ「主体的な子どもの姿を目指して」
～「R5ECEQ研修」について
 - ①継続して研修する中で、自身の取り組みを振り返っての考察
 - ②「ECEQ研修」を通しての学びの考察と今後への活かし方
2. 「園内環境の安全管理確保」「ヒヤリハット」についての考察
3. 「保護者との連携」についての考察

以下、複数の教職員よりあげられた次年度への自己評価についてまとめてみた。

1. R4.研修テーマ「主体的な子どもの姿を目指して」

～「R5.ECEQ研修」について

① 継続して研修する中で、自身の取り組みを振り返って

(成果)

- ・保育の中で柔軟に子どもを見るよう意識できるようになった。
- ・クラスの子どもの様子を他の保育者に伝える経験が増え、伝える内容や伝え方を学ぶことができた。
- ・研修を行っていく中で、意識しながら保育を進めていくことができた。子ども達に対する声かけや遊びの内容等、自分なりに考え取り組んでいる。
- ・子ども達の現状の姿をしっかり把握し、そこからどういった保育が必要か等、十分に考えて実践に繋げることができるようになった。
- ・子ども達の遊びをより深く見るきっかけとなった。
- ・自分の保育を振り返りながらも、一度見つけ見直す良い機会となった。
- ・自分の保育を見つめることや子どもの見とり、保育環境について等、改めて見直し、継続して写真などにまとめて記録し考察したこと。またグループで自分の保育実践を伝え話し合いをしたことは、久々で新鮮だった。

(課題)

- ・“主体的な姿”という言葉にとらわれすぎたり、子ども達に求めすぎてしまう部分もあった。
- ・子ども達の“やりたい”という気持ちを引き出せるようにするための準備や環境構成等を考えていく必要性を感じた。
- ・日々の保育、行事に追われこなすことに精一杯となってしまった。
- ・マンネリ化しないような保育計画をしたが、子どもの遊びがそこまで広がらなかったり継続しなかった点においては、原因を考えながらもう一度向き合っていたい。
- ・新しくチャレンジした保育をクラス内では行うように意識したが、学年行事の中にも少しは取り入れられることがあったのではないかな。
- ・事例を出し合う中で、他の学年で行われていることが確認できたり、子どもの姿についてグループで話し合えたことは良かった。
- ・各クラスで今子ども達に何が必要なのか、それにはどんな保育が適しているか考える際、掘り下げた考えがまだ不足しているように感じた。

② 「ECEQ 研修」を通しての学びの考察と今後への活かし方

(成果)

- ・子ども達のより良い成長の為に保育者はどのような援助をしていくことが大切なのか考える機会となった。
- ・学年で話す中で、深く掘り下げていく機会があまりなかったので良い機会であった。
- ・言葉かけを工夫するだけで活動に対する子ども達の気持ちが変わることを実感した。
- ・園内のことを考えたり、保育内容を考えたり、子どもや保育者の良いところや課題を考えたりすることで見えてくるものがたくさんあったように思う。
- ・クラスの姿を見つめなおすと共に学年で共通の問いを考えたり、他クラスはどんな姿であるかよく知ることができた。
- ・園や保育の良さ・課題が具体的になり、改善に向けて動き始めようとするきっかけができた。
- ・段階的に細かく良いところや課題を全体で話し合えたことが有意義だった。
- ・外部研修で(大きな研修)他園の経験がある先生方に保育を見ていただき、自分では気づきにくかったことについてアドバイスがもらえたこと。

(課題から今後へ)

- ・子どもが集中して遊びに取り組める時間の確保や何を行うか、何が大切なのかを選択していくこと。また、今の姿と園として行っていきたいことの照らし合わせが大切となる。
- ・保育者間のコミュニケーションをしっかりとっていくことでスムーズに保育が進んでいくことがあると思うので、今後も話しやすい雰囲気作り等、工夫していきたい。
- ・研修をしていく中で、自分自身の主体性の足りなさを感じた。今後努力していきたい。
- ・話し合いの中で自分ばかりは話すぎてしまった場面があった。いろいろな意見を引き出せるように心掛けていきたい。

- ・次の学年に繋がるための子どもの育ちについて（縦の繋がり）の課題や改善点について十分に話し合いができなかったことが残念だった。
- ・縦割り・行事についての課題が主に出ていたので、教育課程を見直す際に意識して話し合いができるとよい。
- ・他園の先生方から認められた部分は自信を持って続けていき、課題となったことは改善できるものから取り組んでいかなければならない。

2. 「園内環境の安全管理確保」「ヒヤリハット」についての考察

- ・月1回の点検を担当が担当することで、見る視点や意識が違ってきたと思う。
- ・ヒヤリハットについては、提出数が少なくなってしまったので反省している。紙だけでなく伝え合いも意識していきたい。
- ・安全管理マニュアルは常に見える場所に保管し、折に触れ読み返すようにしている。近年様々な事故や事件が起きている為、素早く対応できるよう心掛けている。
- ・園内で起こる事故についていろいろな場面を想定して過ごすようにしてきた。事前に防げるものとそうでないものとあり難しいと感じた。
- ・園内事故はもとより園児に関する事故に関しても情報の共有をしっかりとしたい。
- ・ヒヤリハットもついでには書面に残すことを忘れてしまうことが多かったので気を付けていきたい。
- ・園内の危険箇所やどのような怪我か、またどんな状況だったのかが書面を通して読み取ることができるので、気を付けようとするきっかけに繋がっていった。ヒヤリハットしてしまうような状況を作らないような環境にしていかなければならないと感じた。
- ・ヒヤリハットの事例として挙げられている箇所について、検討が必要となる場合も含め、未然に防げるよう管理体制の見直しや置き場所の検討等、話し合うことが大切だと感じる。
- ・ヒヤリハットがあった場面をスピード感をもって伝えていける方法を検討したい。

3. 「保護者との連携」についての考察

- ・学年だよりやクラスだよりを発行しているが、クラス運営について保護者側からはどう感じているのかと思うこともある。
- ・通園方法（バス・歩き）によって話をする機会が異なるので工夫している。面談があるとその機会を利用して話ができるので定期的に計画できると良いのだが。
- ・クラスだよりの内容や回数を見直して保護者に理解させていただけるよう知らせていきたい。
- ・子ども達の課題もいろいろあるので、良いことも含め共有していけるよう今後もしっかり行っていきたい。
- ・伝え方として言葉使いや伝わりやすい言い回し等再度考え、保護者の方々が話をしやすいよう環境を整えていこうと思う。
- ・学年だよりやクラスだより等の有効活用法を考えていきたい。

- ・保護者への連絡方法として、会って話をする・電話連絡・連絡帳・手紙でのお知らせ・メールでのお知らせ…各種あるが、それぞれの特性を生かしつつ連絡ツールとして利用しながら連携を取っていききたい。
- ・園としての思いと保護者としての思いの差があるのは仕方がないが、コミュニケーションを取りながら縮めていけるよう努力していききたい。

全体的な分析

令和4年度より「主体的な子どもの姿を目指して…」というテーマを掲げ研修を深めてきたことで少しずつ保育に動きが出てきたところで年度終了。

令和5年度からはECEQ研修のスタートとなった。ECEQ研修は年間を通じて研修を深めていく内容だったので、なかなか難しい面もあった。

しかし研修を積んでいくにしたがって、各自が研修に向けて真摯に向き合い努力を積んだ一年であり、それぞれに子ども達の成長を願い取り組んでいくことの大切さを感じ取ることができていたように思う。

今年度の焼私幼公開保育やECEQ研修で得たことは多くある。園や子ども達の良さや大切にしたいところを土台にして、これからの課題に取り組んでいきたいと思う。それをもとに次のステップに進んで少しずつ保育の質が向上していけるよう努力していききたい。

また、級外教職員も子ども一人一人の育ちへの援助、若い年代への励まし、保護者との信頼関係の構築、ECEQ研修に関わる手助け等…それぞれの経験を活かし多方面で良きサポーターとして心強い存在となっている。これからも連携を取りながら進めていききたいと思う。

長い間令コロナ禍ということに悩まされていたが、第5類となったことにより園生活も以前に戻りつつある。子ども達にとって主体的に活動できる物的・人的環境を整えながら、落ち着いた園生活が送れるよう計画していききたい。

○学校保健の柱

- ①園児の健やかな生活を守るため、保健に関する学習機会を推進し、自主的な健康生活の基礎を培う。
- ②健康診断を実施し、疾病異常の早期発見と早期治療を促すとともに、保護者との相談活動に努める。
- ③JRC（青少年赤十字）活動の精神に基づき、保育室内外の環境美化を推進する。
- ④保護者を含めて、家庭ぐるみでの食育教育・環境教育の推進を図る。

○学校安全の柱

- ①学校施設器具の定期安全点検を実施する。
- ②園児、教職員、家庭それぞれの防災意識を高め、同時に火災・震災に備えての園内定期訓練を実施する。
- ③保育時間中の園施設内の巡回・監督についての分担表を整備し、担当者による監督・指導を徹底する。
- ④園外活動時の事前現地調査（下見）ならびに当日運営にあたっての監督者数、父親代表者の同行に配慮し、安全な事業実施を図る。
- ⑤交通教育の徹底を図り、事故防止に努めるとともに、保護者、教職員の交通道德向上に向けての啓蒙活動を行う。
- ⑥正門、通用門、裏門の施錠・開錠管理を徹底し、不審者の侵入を防ぐとともに、定時園内巡回や防犯カメラ管理によって安全確認を進める。

以上の柱に基づき、別紙のような年間計画を作成し、その実施に努める。

令和5年度 学校保健安全計画

焼津豊田幼稚園

☆第1学期

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7・8月 |
|----------------|--------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 園行事 学年行事等 | | 6 始業式 | 個人面談 | 6 年少がんばりハイク | 18 年長川遊び |
| | | 8 入園式 | 母の日の会 | 7 年中親子遠足 | 21 終業式 |
| | | 22 保護者会役員会 | 10 内科検診① | 17 家族参観日 | 21-22 年長宿泊 |
| | | 個人面談 | 11 年長親子遠足 | | 8/23 同窓会 |
| | | | 16 年長がんばりハイク | | 24-30 夏季保育 |
| | | | 17 内科検診② | | |
| | | | 18 年中がんばりハイク | | |
| | | | 27 わんぱくホリデー | | |
| 保安 健全 管理 | 心身の 管理 | 身体測定 | 身体測定 | 身体測定 | 身体測定 |
| | | 応急処置記録整理 | 応急処置記録整理 | 歯科検診 | 応急処置記録整理 |
| | | | 内科検診 | 健康診断事後措置 | 感染症罹患率調査 |
| | | | 健康診断未受診者再検診 | 健康診断未受診者再検診 | |
| | | | | 応急処置記録整理 | |
| | | | | | |
| | 環境管理 | 施設点検 | 施設点検 | 施設点検 | 施設点検 |
| | | 施設内の環境整備 | 施設内の環境整備 | 施設内の環境整備 | 施設内の環境整備 |
| | | トイレ・水道等の石鹸つけ | トイレ・水道等の石鹸つけ | トイレ・水道等の石鹸つけ | トイレ・水道等の石鹸つけ |
| | | 救急箱の管理・補充 | 救急箱の管理・補充 | 救急箱の管理・補充 | 救急箱の管理・補充 |
| | | | 園外活動中での救急準備 | 園外活動中の救急準備 | 園外活動中の救急準備 |
| | | | | | |
| | 安全管理 | 施設器具の安全点検 | 施設器具の安全点検 | 施設器具の安全点検 | 施設器具の安全点検 |
| | | 施設内の巡回・監督 | 施設内の巡回・監督 | 施設内の巡回・監督 | 施設内の巡回・監督 |
| | | 施設内所定場所の撮影 | 園外活動中での救護活動 | 園外活動中での救護活動 | 園外活動中での救護活動 |
| | | | 施設内所定場所の撮影 | プール活動中の救護活動 | プール活動中の救護活動 |
| | | | 防災・避難訓練 | 施設内所定場所の撮影 | 施設内所定場所の撮影 |
| | | | | 防災・避難訓練 | 防災・避難訓練 |
| 保安 健全 教育 | 保健指導 | 保健だより発行 | 保健だより発行 | 保健だより発行 | 保健だより発行 |
| | | 基本的習慣・態度 | 手洗い・うがい | 虫歯と歯磨きについて | 感染症とその予防について |
| | | 健康診断の意義 | 心身の健康について | 環境衛生について | 夏季休業中の健康管理 |
| | | | | 歯磨き指導(年長) | 熱中症予防について |
| | 安全指導 | | 園内での事故防止 | 園内での事故防止 | 園内での事故防止 |
| | | | 園外活動中の安全 | 園外活動中の安全 | 園外活動中の安全 |
| | | | | | 夏季休業中の安全管理 |
| | | | | | |
| | 環境 その他の 啓蒙活動 | 応急処置 | 応急処置 | 応急処置 | 応急処置 |
| | | 健康相談活動 | 健康相談活動 | 健康相談活動 | 健康相談活動 |
| | | 健康観察 | 健康観察 | 健康観察 | 健康観察 |
| | | | | | 夏季研修 |

☆第2学期

| | | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------------|--------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 園行事 学年行事等 | | 1 始業式・防災訓練 | 28 作品展 | 1 年中がんばりハイク | 2 音楽祭 |
| | | 16 ふれあいの日 | 31 年長がんばりハイク | 7 年少がんばりハイク | 21 終業式 |
| | | 28 年長園外保育 | | 17 創立記念日 | |
| | | 年長視力検査 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 保安 健全 管理 | 心身の 管理 | 身体測定 | 身体測定 | 身体測定 | 身体測定 |
| | | 応急処置記録整理 | 応急処置記録整理 | 応急処置記録整理 | 応急処置記録整理 |
| | | 治療報告書整理 | 治療報告書整理 | | 感染症罹患率調査 |
| | | 年長視力検査 | | | |
| | | | | | |
| | 環境管理 | 施設点検 | 施設点検 | 施設点検 | 施設点検 |
| | | 施設内の環境整備 | 施設内の環境整備 | 施設内の環境整備 | 施設内の環境整備 |
| | | トイレ・水道等の石鹸つけ | トイレ・水道等の石鹸つけ | トイレ・水道等の石鹸つけ | トイレ・水道等の石鹸つけ |
| | | 救急箱の管理・補充 | 救急箱の管理・補充 | 救急箱の管理・補充 | 救急箱の管理・補充 |
| | | 園外活動中の救急準備 | 園外活動中の救急準備 | | 音楽祭の救急準備体制 |
| | 安全管理 | 施設器具の安全点検 | 施設器具の安全点検 | 施設器具の安全点検 | 施設器具の安全点検 |
| | | 施設内の巡回・監督 | 施設内の巡回・監督 | 施設内の巡回・監督 | 施設内の巡回・監督 |
| | | 防災点検 | 園外活動中での救護活動 | 防災・避難訓練 | 防災・避難訓練 |
| | | 緊急時管理体制の見直し | 防災・避難訓練 | | |
| | | 防災・避難・引渡し訓練 | | | |
| 保安 健全 教育 | 保健指導 | 保健だより発行 | 保健だより発行 | 保健だより発行 | 保健だより発行 |
| | | けがの処置と予防について | 就学時検診事前指導 | 規則正しい生活・睡眠 | 冬に多いやけどについて |
| | | 生活習慣の見直し | 目の大切さについて | 風邪の予防対策 | 冬季休業中の健康管理 |
| | | | 栄養バランスと健康管理 | うがい・手洗いについて | 冬に負けない体づくり |
| | 安全指導 | 園内での事故防止 | 園内での事故防止 | 園内での事故防止 | 園内での事故防止 |
| | | 園外活動中の安全 | 園外活動中の安全 | 園外活動中の安全 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | 環境 その他の 啓蒙活動 | 応急処置 | 応急処置 | 応急処置 | 応急処置 |
| | | 健康相談活動 | 健康相談活動 | 健康相談活動 | 健康相談活動 |
| | | 健康観察 | 健康観察 | 健康観察 | 健康観察 |
| | | | | | 冬季研修 |

☆第3学期

| | | 1月 | 2月 | 3月 | |
|--------------------|----------------|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 園行事 学年行事等 | | 9 始業式 | 17 一日体験入園 | 1 年中お別れ会 | |
| | | 中旬 マラソンごっこ | 27 年長お別れ遠足 | 16 終了証書授与式 | |
| | | 年中視力検査 | 29 年少お別れ遠足 | 18 終業式 | |
| | | 年少視力検査 | 劇参観 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 保安 健全 管理 | 心身の 管理 | 身体測定 | 身体測定 | 身体測定 | |
| | | 応急処置記録整理 | 応急処置記録整理 | 応急処置記録整理 | |
| | | 次年度健康診断立案 | 次年度健康診断立案 | 次年度健康診断準備 | |
| | | 病欠調査 | 病欠調査 | 年間感染症調査 | |
| | | 年中視力検査 | | 公簿整理 | |
| | | | | 病欠調査 | |
| | 環境管理 | 施設点検 | 施設点検 | 施設点検 | |
| | | 施設内の環境整備 | 施設内の環境整備 | 施設内の環境整備 | |
| | | トイレ・水道等の石鹸つけ | トイレ・水道等の石鹸つけ | トイレ・水道等の石鹸つけ | |
| | | 救急箱の管理・補充 | 救急箱の管理・補充 | 救急箱の管理・補充 | |
| | | | 園外活動中の救急準備 | | |
| | | | | | |
| | 安全管理 | 施設器具の安全点検 | 施設器具の安全点検 | 施設器具の安全点検 | |
| | | 施設内の巡回・監督 | 施設内の巡回・監督 | 施設内の巡回・監督 | |
| | | 防災・避難訓練 | 園外活動中での救護活動 | 園外活動中での救護活動 | |
| | | | 防災・避難訓練 | 防災・避難訓練 | |
| | 保安 健全 教育 | 保健指導 | 保健だより発行 | 保健だより発行 | 保健だより発行 |
| | | | 冬季休業後の健康管理 | 換気的重要性について | 1年間の健康管理の反省 |
| インフルエンザ予防対策 | | | 寒さに負けない体づくり | 耳について | |
| 手洗い・うがいの見直し | | | | 春季休業中の健康管理 | |
| 安全指導 | | 園内での事故防止 | 園内での事故防止 | 園内での事故防止 | |
| | | | 園外活動中の安全 | 春季休業中の安全指導 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 環境 その他の 啓蒙活動 | | 応急処置 | 応急処置 | 応急処置 | |
| | | 健康相談活動 | 健康相談活動 | 健康相談活動 | |
| | | 健康観察 | 健康観察 | 健康観察 | |
| | | | | 春季研修 | |

【 園内施設（建物・構築物関係）の保全状況 】

1. 園庭緑化関係事業

➡園庭の芝関係の事業として、時期に合わせて肥料を散布、冬芝の種まきなどを実施した。

2. 給食用スチームコンベクションの修理

3. 裏の門扉取り換え

4. 延長保育こばと組の遮光カーテン取り付け

5. 保育室クロス等修理

6. 築山の盛土工事

7. 中央棟雨漏り補修工事

8. にこにこの木のトンネルスライダー半分修繕

【 園内遊具の保全状況について 】

1. 業者による遊具一斉点検（3/4） ➡ 結果報告待ち

※月1回職員による一覧表に沿って目視点検を行っている。不良部分があった場合は報告し、素早く対応できるようにしている。

一年度末アンケート調査にご協力くださいー

☆お子様の学年は？

1. 満3歳 2. 年少 3. 年中 4. 年長（お子様が2人の場合は2学年に丸印をお願いします。）

☆評価基準（回答欄にアルファベットで記入してください）

- A…そう思う B…大体そう思う C…あまりそう思わない D…そう思わない

| 《お子様についての質問》 | | 回答欄 |
|--|---|-----|
| Q1 | お子様は、幼稚園での生活を楽しんでいると思いますか。 | |
| Q2 | お子様は、園での生活や経験を通じて成長していると思いますか。 | |
| Q3 | お子様は、家庭で幼稚園や先生、友達の話をよくしますか。 | |
| Q4 | お子様は、クラス担任を頼りにしていますか。 | |
| 《幼稚園及び教職員についての質問》 | | 回答欄 |
| Q5 | 教職員は、一人一人の子どもの理解に努め保育をしていると思いますか。 | |
| Q6 | 教職員は、協力し合って保育にあたっていると思いますか。 | |
| Q7 | 教職員は、園でのお子様の様子や連絡等、適切に行っていると思いますか。 | |
| Q8 | 教職員は、子ども達が喜んで身体を動かして遊ぶように努めていると思いますか。 | |
| Q9 | 幼稚園は、教育・保育内容を園だよりや学年だより、クラスだより等でわかり易く伝えていると思いますか。（メール配信も含め） | |
| Q10 | 幼稚園は、子どもの意欲や主体性を育む保育をしていると思いますか。 | |
| Q11 | 幼稚園は、子どもが意欲的に活動できる環境を整えていると思いますか。 | |
| Q12 | 幼稚園は子どもの安全に配慮していると思いますか。 (感染症対策・交通安全指導・遊具の点検・防災避難訓練等) | |
| <p>※Q2 の設問でお子様の成長について伺っていますが、成長について実感されるのはどんな面でしょうか。実感されない方はどのような理由からでしょうか。下記にご記入ください。</p> | | |
| <p>※保護者様も参加される年間行事について、何かお気づきの点がありましたら下記にご記入ください。 (わんぱくホリデー・造形まつり・音楽祭・各種参観会等)</p> | | |
| <p>※園生活全般にわたってご意見、ご感想等ありましたら、下記にご記入ください。 (教職員への要望・次年度への要望等でも構いません。)</p> | | |

ご協力、誠にありがとうございました。

令和5年度 保護者アンケート実施結果についての考察

学校法人相愛学園 焼津豊田幼稚園

保護者の皆様にご協力いただいたアンケートがまとまりましたのでご報告いたします。

A (そう思う) B (大体そう思う) C (あまりそう思わない) D (そう思わない)

<お子様について>

(Q1) 幼稚園の生活を楽しくしていると思いますか

| | |
|-------|-------|
| A 86% | B 14% |
|-------|-------|

(Q2) 園での生活や経験を通じて成長していると思いますか

| | |
|-------|------|
| A 97% | B 3% |
|-------|------|

(Q3) 過程で幼稚園や先生、友達の話をよくしますか

| | | |
|-------|-------|------|
| A 75% | B 20% | C 5% |
|-------|-------|------|

(Q4) クラス担任を頼りにしていますか

| | |
|-----------|-------|
| A 88、004% | B 11% |
|-----------|-------|

<教職員について>

(Q5) 一人ひとりの子どもの理解に努め保育をしていると思いますか

| | |
|-------|-------|
| A 85% | B 15% |
|-------|-------|

(Q6) 協力し合って保育に当たっていると思いますか

| | |
|----------|-------|
| A 82、09% | B 17% |
|----------|-------|

(Q7) 園でのお子様の様子や連絡等、適切に行っていると思いますか

| | |
|-----------|-------|
| A 83、004% | B 16% |
|-----------|-------|

(Q8) 子ども達が喜んで身体を動かして遊ぶように努めていると思いますか

| | |
|-------|-------|
| A 88% | B 12% |
|-------|-------|

<幼稚園について>

(Q9) 教育・保育内容を園だよりや学年だよりクラスだより等で分かり易く伝えていると思いますか

| | |
|-------------|-------|
| A 約 69、974% | B 30% |
|-------------|-------|

(Q10) 子どもの意欲や主体性を育む保育をしていると思いますか

| | |
|------------|-------|
| A 約 84、99% | B 15% |
|------------|-------|

(Q11) 子どもが意欲的に活動できる環境を整えていると思いますか

| | |
|------------|-------|
| A 約 82、99% | B 17% |
|------------|-------|

(Q12) 子どもの安全に配慮していると思いますか

| | |
|------------|-------|
| A 約 79、99% | B 20% |
|------------|-------|

※全体的にみると保護者の皆様にご理解いただいているところが多いかと思えます。

ただ、設問によっては、C (あまりそう思わない) D (そう思わない) というご意見もいただきました。それらの設問については、検討し改善に向けて進めていく所存です。

☆お子様の成長については…

満3歳 } ・満3・年少組共初めての集団生活ということもあり、基本的な生活習慣の確立、自分ことは自分
年少組 } やろうとする姿、園生活を楽しくしている様子、友達との関わり、言葉の成長などが多くあげられ
} 日々成長している様子を感じているようです。

年中組 } ・集団生活でのマナーや礼儀等が身についてきたり、友達関係の広がり、苦手なことにも挑戦しよう

とする気持ちや頑張る姿等、意欲の面での成長が多くあげられていた。また、行動範囲の広がりや周りへの興味も広がっている様子を感じているようです。

年長組 ・人との関わりにおける成長が多くあげられていた。(自分で考えて行動、目的意識を持つ、友達関係の深まりや協調性の育ち、年下の子への優しさ等) また、相手の話をしっかりと聞く、自分の思いや状況を順序立てて相手に伝える、言葉の成長…等も年長児らしい成長を実感しているようです。

本年も多くの建設的なご意見を頂戴しました。特にご意見の多かった点については下記に列記しました。早速来年度より改善に向けた対応を考えてまいりたいと思っております。

○行事に関する手紙について

⇒手紙については少しずつ改善してきました。特に行事に関するものが何枚も配布されるのでわかりにくいので1枚にまとめてほしいというご意見が多くありました。共通理解をしていただく為どうしても多くなりがちではありますが、今年度は内容を検討しなるべくご希望に添えるよう考えていきます。

○参観について

⇒「〇〇の日」というような参観日の他に、給食参観や自由参観、日常の生活を見ることが出来る参観日を計画してほしいというご意見がありました。コロナも第5類になり少しずつ参観等も増やしていきたいとは思いますが、就労しているお母様方も多いのでそれらを踏まえ考えていきたいと思えます。

○年間を通じて欠席状況を知らせてほしい

⇒感染症が発生しやすい冬場を中心にメール配信をしていましたが、感染症関係については年間を通じて知らせてほしいというご意見がありました。受診の際、病院の先生に聞かれるという声、マスク着用の指針となるとの声も聞かれましたので、次年度は対応するよう考えています。

○降園時間の裏門の混雑を解消してほしい

⇒降園時間が混雑するので大きい扉側を空けるか全開にしてほしいというご意見をいただきました。子ども達の飛び出し防止のことも考え、片側しか開放していませんでしたが…。対策を考えます。

○その他の検討事項

- ・音楽祭でのマナーを守らない方・園駐車場のルールを守らない方への苦情
⇒引き続き注意勧告をしていきます。特に駐車場使用については、事故につながるような危ない場面を目にしている方も多くいらっしゃいました。安全確保に為に必ず守っていただくよう協力を求めます。
- ・学年だよりを早く発行してほしい。集金日がいろいろで細かいお金の準備に困る。
⇒次年度は前月の1日に学年だより配付・集金日とします。1日が休日の場合は翌週月曜日となります。
- ・不審者対応として降園時間のお迎え時に名札を付けたらどうか。⇒次年度に向けて検討します。
- ・とよだっこまつりでの飲食を解禁してほしい。⇒ 保護者会に伝え検討します。
- ・クラブのある日に長時間駐車をしている方がいてこぼたのお迎え時に停められないことがある。
⇒クラブお迎えの入庫時間は決まっていますが守られていないようなので担当者と対応を考えます。
- ・親子遠足について⇒先日お知らせをしましたが次年度は年長のみ対応となります。

保育については、概ねご回答をいただいた皆様から一定のご評価を頂戴できました。

ご意見を頂戴したことを真摯に受け止め頑張っていく所存でございます。いただいたご意見をすべて掲載・返答できず申し訳ございません。改善点は一つ一つ受け止められることから進めてまいります。次年度に向けてよい反省材料をいただき、感謝申し上げます

一年間のご理解とご支援、誠にありがとうございました。